



企画にあたって

奥村貴裕

(名古屋大学医学部附属病院 重症心不全治療センター 副センター長)

糖尿病性心筋症ってどうやって診断するの？ 敗血症性心筋症ってどんな病態？
Marfan 症候群って、なぜ心筋はダメージを受けるの？

“〇〇心筋症”や“〇〇 cardiomyopathy”と名の付く疾患・病態は数多く、本来の心筋の異常であるかどうかは別としても、その概念がいまだ漠然として、確立されていない心筋症も多い。日本循環器学会／日本心不全学会合同ガイドライン「心筋症診療ガイドライン（2018年改訂版）」では、肥大型心筋症，拡張型心筋症，不整脈原性右室心筋症，拘束型心筋症といったいわゆる原発性心筋症（特発性心筋症）の診断は，可能なかぎり二次性心筋症を鑑別したうえで確定されるべきとされ，診断フローにおいて，その鑑別をより上位に位置付けている。この意義は，治療可能な心筋疾患・病態の正確な早期診断・治療と，植込み型補助人工心臓や心臓移植といった将来的な治療選択肢の有無の判断にあると考える。

本特集では，二次性心筋症と心機能障害を起こす全身病態にフォーカスし，さまざまな心筋症・心機能障害の概念，メカニズム，診断・治療の現状と展望をレビューすることを目的とした。臨床実地の第一線で活躍する講師陣に執筆を依頼し，同様の書籍に類をみないような，よく名前は聞くもののいまひとつわかりにくい心筋症にまであえて踏み込み，「診る」「識る」「治す」の観点から，臨床現場における疑問や悩みなど，かゆい所に手が届くよう配慮した。

本特集が，読者の二次性心筋症に関する知識の整理，診断能力の向上のみならず，その先にある患者さんの Happy につながれば，企画者としてこの上ない喜びである。